

独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構の平成 30 事業年度評価結果の主要な反映状況

1. 役員人事への反映について

役員人事への反映	中期目標に定められた業務について、中期計画に沿った年度計画が順調に達成され、国土交通大臣による平成 30 年度の総合評価が「B」評価であったこと等を踏まえ、役員解任等は行わなかった。
----------	---

2. 法人の運営、予算への反映について

評価項目	平成 30 事業年度評価における主な指摘事項	令和元年度及び令和 2 年度の運営、予算への反映状況
国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項	<p>1. (1) ①-1 (整備新幹線整備事業の完成・開業年度目標の達成に向けた適切な工程管理)</p> <p>・建設中の整備新幹線については、いずれも「工事実施段階」であることを踏まえ、今後も、品質を確保しつつ、合理的かつ効率的な工事の実施に努め、安全な事業遂行に万全を期すとともに、路線ごとの各種課題に、関係者間で十分に連携しつつ、開業予定時期を踏まえ、適切に事業を実施していくことが必要である。</p>	<p>建設中の整備新幹線については、技術基準類の制定・改訂、段階的な技術系統別研修の実施、施工監理講習会の実施及び技術開発の推進等により、品質を確保しつつ、合理的かつ効率的な工事の実施に努めている。また、安全な事業遂行を図るため、機構本社で決定した事故防止重点実施項目を参考に、機構各地方機関において工事内容を踏まえて当該項目を追加設定し、施工者に対して指導等を行っている。さらに、国土交通省、関係地方公共団体、関係営業主体及び機構による会議体において、発生土受入地の確保や、生コンクリートの需要量の増大に伴う供給量不足等の課題について、関係者間で十分な情報の共有を行うとともに、早期の調整を図り、第 4 期中期目標で示された＜具体的な完成・開業年度目標＞を踏まえ、工程管理に努めている。</p> <p>新型コロナウイルス感染症については、工事等の受注者とともに感染拡大防止に努め、完成・開業予定時期を踏まえ、引き続き適切な工程管理を実施していく。また、工事への影響の把握に努め、関係者間の会議体等において情報共有を行い、課題の早期調整に努めていく。</p>

	<p>1. (1) ①-2 (整備新幹線整備事業における適切な事業費の管理)</p> <p>・今後も、関係者間で定期的に検討会を開催し十分な情報共有を行い、関係者が一体となって課題の早期調整に努めるとともに、引き続きコスト削減・抑制の徹底を図っていくことが必要である。</p> <p>1. (1) ②-1 (都市鉄道利便増進事業等の完成・開業年度目標の達成に向けた適切な工程管理)</p> <p>・神奈川東部方面線(相鉄・東急直通線)については、「工事実施段階」であることを踏まえ、今後も、品質を確保しつつ、合理的かつ効率的な工事の実施に努め、安全な事業遂行に万全を期すとともに、路線ごとの各種課題に、関係者間で十分に連携しつつ、開業予定時期を踏まえ、適切に事業を実施していくことが必要である。今後も、新たな第4期中期目標のもと、完成予定時期を踏まえ、工程の管理を徹底しつつ、事業を適切に進めることが必要である。</p> <p>また、神奈川東部方面線(相鉄・JR直通線)は「開業準備段階」であることから、開業に向け、様々な諸試験や検査を行うこととなるため、引き続き、各作業を行う部門ごとの連携を十分にし、完成・開業予定時期までに開業させることが必要である。</p>	<p>国土交通省、関係地方公共団体、関係営業主及び機構による会議体において、発生土受入地の確保や、生コンクリートの需要量の増大に伴う供給量不足等の課題について、関係者間で十分な情報の共有を行い、早期の調整を図るとともに、技術開発の動向を踏まえてコスト削減を図り、コスト削減効果について機構内で情報共有をしている。</p> <p>一部の路線においては、工程遅延に繋がる様々な問題が顕在化しており、全体工期を遵守するための工程短縮に要するコストの増加等により、事業費管理の難易度が高まっている状況ではあるが、引き続き早期に関係者と情報の共有を図り協議検討を進めるよう努めていく。</p> <p>神奈川東部方面線(相鉄・東急直通線)については、技術基準類の制定・改訂、段階的な技術系統別研修の実施、施工監理講習会の実施及び技術開発の推進等により、品質を確保しつつ、合理的かつ効率的な工事の実施に努めている。また、安全な事業遂行を図るため、機構本社で決定した事故防止重点実施項目を参考に、機構東京支社において当該項目を追加設定し、施工者に対して指導等を行っている。さらに、国土交通省、関係地方公共団体、関係営業主及び機構で定期的に委員会等を開催し、関係者が一体となって課題の早期調整に努め、第4期中期目標で示された<具体的な完成・開業年度目標>を踏まえ、工程の管理に努めている。</p> <p>また、神奈川東部方面線(相鉄・JR直通線)については、機構が中心となって各部門(用地、路盤・停工、軌道、機械、建築、信号、通信、電車線、変電、電力、運転、営業)との機構部内調整及び鉄道事業者(相模鉄道(株)、JR東日本)との部外調整を図り、開業に向けた工事しゅ</p>
--	--	---

	<p>1. (1) ②-2 (都市鉄道利便増進事業における適切な事業費の管理)</p> <p>・今後も、関係者間で定期的に検討会を開催し十分な情報共有を行うなど、関係者が一体となって課題の早期調整に努めるとともに、引き続きコスト削減・抑制の徹底を図っていくことが必要である。</p>	<p>ん功監査、立会確認、竣工確認、事前監査、地上監査及び総合監査を進め、第4期中期目標で示された平成31年度下期の完成・開業の中でも可能な限り早期を目指し、令和元年11月30日に完成・開業させた。</p> <p>国土交通省、関係地方自治体、関係営業主体及び機構で定期的に検討会を開催し、関係者が一体となって課題の早期調整を図るとともに、技術開発の動向を踏まえてコスト削減を図り、コスト削減効果について機構内で情報共有をしている。</p>
業務運営の効率化に関する事項	なし	—
財務内容の改善に関する事項	なし	—
その他の事項	なし	—